

新病院建築ニュース

平成 28 年春開院

善衆会病院は、50 年先を見据えた医療を提供していきます。その第 1 歩として、平成 28 年には新病院を新築オープンさせます。まずは、この先 10 年の変化に対応すべく、環境に配慮し、高度な医療設備をもとに、新たな地域の診療拠点としての重責を担います。



Vol.6 -2015.10.10 発行-

新病院における外科の役割

一般外科、胃・肝・胆・膵など消化器外科に関して、経験豊富な専門医が診察を行います。また、毎週金曜日には、血管外科専門医が透析患者さんのシャント造設、シャントトラブルの治療、日帰りの下肢静脈瘤手術や胸部、腹部大動脈瘤の治療・相談にあたります。新病院に移行しても、基本的な診療方針は変更せず地域に根ざした診療を行ってまいります。

【なるべく苦痛の少ない検査に向けて】《最新型経鼻内視鏡システムの先行導入》

消化器官の良性疾患、悪性疾患（癌）に対して、早期診断、早期治療をモットーに診療を行い、上部・下部内視鏡（胃カメラ・大腸カメラ）を中心とした総合的な検査に力をいれています。

新病院の内視鏡室では検査スペースだけでなく、検査前の処置室
検査後の休憩室を設置し、患者様のホスピタリティを高める様々な工夫
をしております。

また、新病院に向けて富士フィルムメディカルの最新型経鼻内視鏡システムを先行導入しました。経鼻内視鏡の特徴は①嘔吐感（オエッ）が少ない ②安心して検査が受けられる の2つです。口から入れる内視鏡の場合、スコープが舌根（舌の付け根）に触れてしまうため、嘔吐感が起きます。しかし鼻からの場合、スコープが舌根に触れないため嘔吐感ほとんどありません。検査前に鼻腔に麻酔を塗布するため、鼻の痛みもありません。さらには、検査中に会話をすることができ、気になったことをその場で質問できるので安心して検査が受けられます。胃カメラが苦手な方、胃の調子が気になる方はぜひご相談ください。



9月に先行導入した「富士フィルム
メディカル最新型経鼻内視鏡システム」

新病院のデータ

〔所在地〕	前橋市筑井町 54-1
〔階層〕	地上6階立て
〔病床数〕	198床
〔敷地面積〕	18,270.82㎡
〔延床面積〕	13,573.60㎡
〔駐車台数〕	500台



